

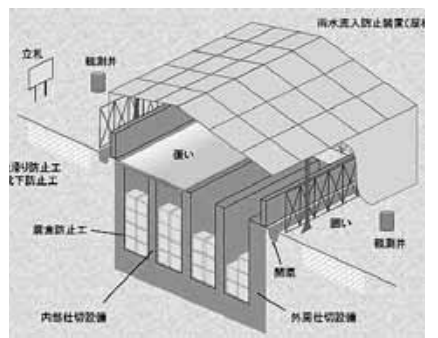


おおせき けんいち 大関 健一 議員

がれき処理支援と最終処分場

栗原市は、岩手・宮城内陸地震では多くの支援を受けてきた。焼却灰の処分、再利用および焼却灰の確保で、最大95万トンの県内処理を拡大、加速する取り組みに加えて、災害廃棄物処分支援の責任と役割を担うべきではないか。仮置場や仮焼却炉、埋立地などからなる2ヶ所から3ヶ所の最終処分場の候補地を宮城県や関係市町村に提示する予定となっているが、現

状はどうなっているのか。最終処分場は、宮城県の課題解決に必要な不可欠な基幹施設であり、国の全責任で設置するとなっているが、課題や国、県、市の連携強化は、いかにあるべきか。



最終処分場のイメージ図（環境省）

正式要請があれば、直ちに行動していきたい。指定廃棄物は県が仲立ちして、透明性、公平性、公開性をしっかりとしながら場所などを提示されたならば、様々な事象を踏まえたうえで議論すべきで、現段階の情報の中では受け入れることはできない。みんなで責任を持って県市長会、町村会と一緒にやって対応すべきである。



ささき よしお 佐々木嘉郎 議員

公共施設白書を作成せよ

市役所庁舎、市営住宅、道路、橋、学校、下水道、環境施設などの公共施設が建築後20年、30年と老朽化が進んでいる。今後、大規模な改修や新築などが集中しないか心配だ。古くなる施設をどのように維持・保全し、建て替えていくか市政運営の大きな課題だ。

の施設を引き継いでいる。機能や利用内容が重複している施設と、築20年以上の建物が多く、維持補修費の増と建て替えの集中による財政負担の増加が予想される。

模は適正かななどの情報を市民に提供するためにも、公共施設白書を作成すべきではないか。



23年経過したクリーンセンター



ささき おさむ 佐々木 脩 議員

よしの幼稚園舎の保存と活用を

議員 来春に公設民営となる若柳幼稚園の運営を担う「学校法人吉野学園」の「よしの幼稚園」は、同窓生3300人を超えるこの地方の幼児教育の先駆けであり、動態保存された「くりでん」とともに、岩ヶ崎の殿様といわれた「中村小十郎」氏が栗原に残してくれた遺産である。

この際、産業近代化遺産「くりでん」とともに教育遺産として保存し、コミュニティーセンターな

どの生涯教育施設として活用してはどうか。また、隣接区域の集会施設としての活用も考えられるかどうか。

ておきたい。 昨年度38件のいじめが市内小中学校で発生

脱原発の姿勢を



鈴木 道夫 議員

議員 東北電力女川原子力発電所は、東日本大震災およびその余震の2回にわたり、電源5系統のうち4系統が不能になり、あわやの危機にあった。栗原市は、女川原発から50mの距離にあり、万が一の事故があれば取り返しがつかない。女川原発再稼動に反対すべきではないか。また、地震大国日本で、国民世論は原発ゼロを求めている。市として、「脱原発・再生

エネルギー推進」の自治体宣言をしようか。
市長 再稼動については、徹底した安全確保と県民の理解を前提に再稼動の条件を明確にし、栗原市もその協議に入るべきと考える。安全なエネルギー源の確保、電力の安定供給、節電対策をしながら原発への依存度を低くしていくべきと考え、脱原発の自治体宣言は考えていない。

議員 公務員一般職には、憲法を尊重、擁護し、全体の奉仕者としての「服務の宣誓」が義務付けられているが、特別職にはない。一般職を指揮、命令、指導、監督する立場の特別職には、より高い倫理意識が求められるものであり、同様に服務の宣誓をしようか。
市長 特別職は公選や議会の同意などの信任過程があり、服務の宣誓の必要はない。



5電源のうち4つが不能になった女川原発

思いやり駐車スペースの確保・設置を



三浦 善浩 議員

議員 ①市内公共施設における障害者用駐車スペースの設置状況と割合は。②障害者用駐車スペースは路面標示か標識看板か。③妊婦さんや内部障害を持った方や高齢者など、社会的に弱い立場の方に対しても公共施設における駐車場の確保が必要と思うがどうか。④(仮称)思いやり駐車スペースとして計画的に設置してはどうか。
市長 ①主な市内公共施設182



障害者用駐車スペース

力所で91122台の駐車スペースのうち、57力所で128台分が確保されている。割合は1・4%である。②地面標示が51力所、標識看板が6力所である。③駐車スペースの確保を図っていく。④実施に向けて検討していく。利用者や他の利用者にもわかるような対応をしていきたいと考えている。
議員 子どもたちへのアレルギー対策は

子どもたちへのアレルギー対策は、食物アレルギーへの給食の対応は。議員 子ども議会を開催をしようか。
教育長 協議、検討したい。

人口減少に歯止めを



鹿野 芳幸 議員

議員 第2大林農工団地、三峰工業団地の造成計画は用地取得や用途変更など一連の手続きなどもあるが、変更はないか。
市長 県やJRをはじめとする関係機関と協議を進め、概算事業費の算定を行っている。今後、多少のスケジュールの変更も想定されるが、現時点で変更はない。
議員 企業誘致の目標の第一は地元雇用を図り、人口減少に歯止め

をかけ、地域経済を促進させることにあると思うが。
市長 市民の就労の場が提供され、所得の向上が図られることから、地元からの雇用を最優先に考えていただいている。その結果、定住が進み人口減少に歯止めがかかるものと考えている。
議員 人間ドック検査に胃部レントゲン検査があるが、希望者に対し胃カメラ検査を導入できないか。



第2大林農工団地予定地

市長 厚生労働省通知の指針では、胃がん検診は胃部エックス線検査で行うこととされており、市ではこの指針に基づいて胃部エックス線検査を実施している。現在は、特にバリウムでの検診が困難な方で、胃カメラ検査を希望する方については、検査委託機関との日程調整を行い、受診者には検査費用の追加や交通手段などの負担を説明している。



ぬまくら たけし 議員
沼倉 猛

指定廃棄物最終処分場設置に反対せよ

議員 国は、放射性物質に汚染された指定廃棄物（1キあたり8000ベクレルを越えるもの）の最終処分場を宮城県にも設置することを決定している。栗原市の栗駒山周辺も候補地との情報がある。市長は承知しているか。国・県の打診の前にも反対の意志を表明すべきではないか。



高清水から見た栗駒山

ことは差し控える。
国保税1世帯1万円の引き下げを
議員 国保税は平成22年、23年と連続で合わせて約30%引き上げられた。結果、低所得者を中心として滞納者が増大し、滞納額も1億600万円増大している。一方、国保の基金（預金）は6億5000万円になっている。市の国保の

基金は5億円ほどが妥当な額であり、税の取り過ぎではないのか。1世帯1万円の国保税引き下げは、1億2000万円あればできるもので、引き下げを求めらる。



たかひし かつお 議員
高橋 勝男

栗駒山登山コースの早期整備を

議員 栗駒山は栗原市の財産であり、大切な観光資源である。岩手・宮城内陸地震から4年、東日本大震災から1年半が過ぎている。栗駒山の観光、8月に起きた遭難事故などを考えると早急に登山コースの整備をすべきである。

案内看板の点検を行った。10月上旬には開放している登山コースの刈り払いを予定している。
議員 登山コースの案内看板などの点検をしているとのことであるが、東北森林管理局から占有許可を取っているのか。



草が生い茂る表掛(御沢)コース入口

合は申請を求められているので、申請に向け調整している。
放射能除染のスピードアップを
議員 市の除染実施計画第1版で除染した各学校の校庭から発生した汚染土壌の最終処分先はどこになるのか。



とみかわ ともひさ 議員
富塚 正夫

小学校 中学校における学力向上対策は

議員 小・中学校における全国学力テストの結果が、全国平均・県平均より低い状況が続いている。「学習くりはら」を掲げる市として、どのように検証しているのか。また、学力向上に向けた対策は。



放課後学習会

原市確かな学力・輝きプランのリーフレットを作成し家庭学習習慣の啓発を実施。平成20年から学力向上サポートプログラム事業を支援
教育長 教育委員会としては、栗原市確かな学力・輝きプランのリーフレットを作成し家庭学習習慣の啓発を実施。平成20年から学力向上サポートプログラム事業を支援

校や希望校で実施。宮城教育大学と連携し中学生を対象とした「学校英語活動研修会の支援など」で徐々に成果としてあらわれてきている。今後は、これら事業の充実を図る。さらに、今年度から小学校2校において夏休み学習会や放課後学習会の学び支援コーディネーター等配置事業を取り入れている。
議員 学力向上に向けた全国学力府くりはら塾」を長期休業期間に実施している。また、教員の指導力向上を目指した教育講演会や小学校英語活動研修会の支援などで徐々に成果としてあらわれてきている。今後は、これら事業の充実を図る。さらに、今年度から小学校2校において夏休み学習会や放課後学習会の学び支援コーディネーター等配置事業を取り入れている。



すがわら ゆう き 議員
菅原 勇喜

「半壊」解体・運搬費用無料支援、申請者全員を対象にせよ

議員 栗原市は「半壊」判定家屋の解体・運搬費用無料制度の対象に「道路・隣家から平屋の場合4以内」などの条件を付している。しかし、仙台市や多賀城市は「半壊」以上については無条件で、当初から解体は市がやると言っている。現在、344件が「半壊」と認定されているが、栗原市から解体・運搬費用無料制度の対象外とされた方でも、このままでは住め

ないとの判断で、解体予定の方がいる。これらの方々をも対象とされるよう施策の拡充を求める。
市長 「半壊」判定が344件、このうち、解体・運搬に係る支援制度に申請された件数は125件で、制度の対象となった件数は115件である。国の支援制度は「半壊」以上となっている。栗原市にとつては、国に準じて判定基準を設定した。今の話を受け、対

策本部にもう一度検討を委ねる。
その他の質問
○子ども医療費・乳幼児医療費の所得制限の撤廃
○農道・用排水路の整備
○30人学級の実現



支援を待つ被災家屋



みつおか あずま 議員
三塚 東

消防団員の報酬を見直せ

議員 消防団員は火災などの消防活動のみならず、消防操法大会に向けた訓練や救助・救命活動の訓練など、強い使命感と地域を愛する気持ちで活動している。
しかし、市消防団の団員報酬は1万7700円であり、県内で2番目に低い金額となっている。よって、県内の市町村との報酬の差を見直すべきである。
市長 消防団員の報酬などは、合



大切な日ごろの機関点検

併時の協議により定められている。県内の市町村と比較すると非常に低いことは認識しているので、いずれは条例の提案を考えたい。
「和牛の五輪」を招致せよ
議員 市は全国和牛能力共進会の種牛の部に名乗りをあげている。どのように招致活動を行うのか。
市長 築館工業団地の予定地が全

国和牛能力共進会の会場として最適と考える。優位性を働きかけながら招致活動をしていく。
近代化産業遺産を生かせ
議員 ジオパークの認定に向け、近代化産業遺産群と連携を図るべきである。
市長 細倉鉾山に関連する近代化産業遺産群との連携は欠かせない。



さとう おみ 議員
佐藤 文男

なぜ遅れている
除染作業

議員 現在の放射能対策や除染作業から見えてきた課題から、除染作業が当初の計画より大幅に遅れた理由は。
市長 環境省との協議、汚染土壌などの保管場所の地元との調整に多くの時間を要し、着手が遅れた。
議員 放射線量が高い地区の一般住宅、通学路の除染は。
市長 これから設置する行政区除染対策協議会と協議し、地域と行

政が共同で取り組む。
議員 子どもたちが直接手を触れる砂場の砂は、放射線量が基準値以下でも入れ替えすべきと思うが。
市長 基準値以下の砂場は除染対象にしていない。
議員 持ち込み食品放射性物質の測定を休日や夜間も開設すべきと思うが。
市長 電話による事前の予約対応だが、申請者の申し出により時間



砂場の砂も交換を

外にも個別に対応している。
住宅リフォーム制度の創設を
議員 全国の3分の1の自治体で地域活性化策として住宅リフォーム助成を行っている。栗原市でも創設すべきと思うが。
市長 耐震改修が最優先課題で「木造住宅耐震改修工事助成事業」を実施している。

私もひとこと

若者の定住と定職



おの でら かつ ゆき
小野寺勝行さん
(志波姫)

「市民が創るくらしたい栗原」の予算が毎年策定され、市の基本方針や将来像が分かりやすく思います。

しかし、高齢者の増加・人口の減少、特に若者の流出など、現実には厳しい不安を感じています。栗原市合併8年目を迎え、市政運営は山あり谷ありと大変だと思いますが、足踏みはできません。活力のある栗原市には、まだまだ遠い道程のようです。栗原市に住んで、そして働いて良かったと思われる産業の振興、定住の満足度、「人は働くことではなく、自尊心も、生きがいも、幸せも得られない」と誰かの言葉にあるように、若者たちにも希望のある行政を行ってほしいと感じます。人口減少、若者たちの流出が起きないよう「企業誘致セールス」を行政、議員一丸となつての行動を今まで以上に奮起していただきたいと思っています。5年後には地方交付税が減額されると聞いております。ますます生活に不安を感じます。どうか議員の皆様には今まで以上に活力のある住みよい栗原市政に積極的にご尽力を注いでいただきたいと思います。

つなぐ「いのち」 救急搬送の現状

最近の出来事で感じたことです。救急車を呼ぶ機会があり10分位で着きましたが、なかなか動かず、20分位してやっと動きました。なぜこんなに走り出すまで時間がかかるんだろうと思いました。栗原市内には栗原中央病院、若柳病院、栗駒病院、瀬峰病院（宮城県立循環器呼吸器病センター）など大きな病院があるにもかかわらず、救急車でさえ受け入れしてもらえないのが現状です。栗原市にかかわらず、救急で何力所かの病院に電話しても断られ、たらい回しにされるケースが多くなってきたように思っています。いくら救急車が早く来ても、受け入れてもらえない病院が無ければ、助かる命も助からなくなってしまう。そのような現状を見て、とても不安な毎日を送っています。

命にかかわることなので、1日も早い医療現場対策をお願いします。安心して暮らせる栗原市にしてください。



えん どう しょう こ
遠藤 昭子さん
(花山)

記録的な猛暑も過ぎ去りの秋を迎え、豊作と米価の値上がりで二重の喜びの収穫の秋となっています。

さて、7月24日から3日間、市民に開かれた議会を目指し、市内全域で市議会初の議会報告会を開催しました。

市民皆様と直接ひざを交え、貴重な意見・要望・提言など聞かせていただきましたが、いかがだったでしょうか。参加された方が少なかったですが、次回に期待したいと思います。

伊豆沼も白鳥やガンなどで賑やかになってきました。向寒の折、くれぐれも風邪など召しませぬように。

佐藤 優

議会広報編集調査特別委員会

- 委員長 佐藤 久義
- 副委員長 高橋 勝男
- 委員 菅原 勇喜
- 委員 鈴木 道夫
- 委員 沼倉 猛
- 委員 佐藤 優
- 委員 三塚 東
- 委員 石川 正
- 委員 三浦 善浩
- 議長 佐藤 千昭

